

資本コストと株価を意識した 経営の実現に向けた対応について

株式会社NEXYZ.Group (東証スタンダード: 4346)

当社のPBRは4.0倍、ROEは28.9%と高い利益効率となっている。一方、PERは14.7倍と業種平均と同水準であるため、今後も持続的な収益成長を通じて、適正な資本構成と投資家との対話による市場評価の向上を図る。

当社実績 2025年3月31日時点 (※1)



スタンダード市場
その他金融業平均 (※2)

1.2倍

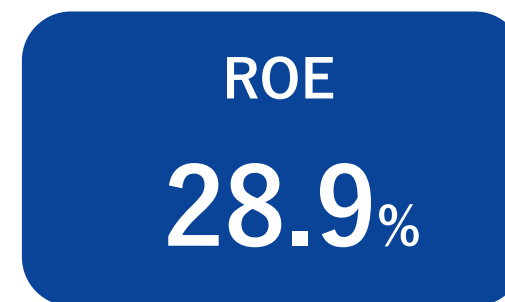
=



スタンダード市場
その他金融業平均 (※2)

16.1倍

×



スタンダード市場
その他金融業平均 (※3)

8.4%

(※1) 3月28日の週を起点とする26週平均株価 EPSは2025年9月期連結業績予想 BPS・ROEは2024年9月期時点の数値

(※2) JPX 2025年3月分 規模別・業種別 PER・PBR (連結) を参照

(※3) 2024年度決算短信集計【連結】《スタンダード》を参照

当社の資本コストは、負債による資金調達の割合が高いため、株主資本コストと比較してWACCは比較的低く抑えられている。

株主資本コスト 7.1

$$\text{株主資本コスト (CAPM)} = r_f + \beta (r_M - r_f)$$

構成要素

r_f : リスクフリーレート (%) (※1)	1.5
β : β 値 (※2)	0.8
$r_M - r_f$: マーケットリスクプレミアム (%)	7.0

WACC (加重平均資本コスト) 4.8

$$\text{WACC} = D / (D + E) \times r_D(1 - T) + E / (D + E) \times r_E$$

構成要素 (※3)

D : 有利子の負債額 (百万円)	5,554
E : 株主資本の時価総額 (百万円)	10,696
r_D : 負債コスト (%)	0.8
r_E : 株主資本コスト (%)	7.1
T : 実効税率 (%)	38.9

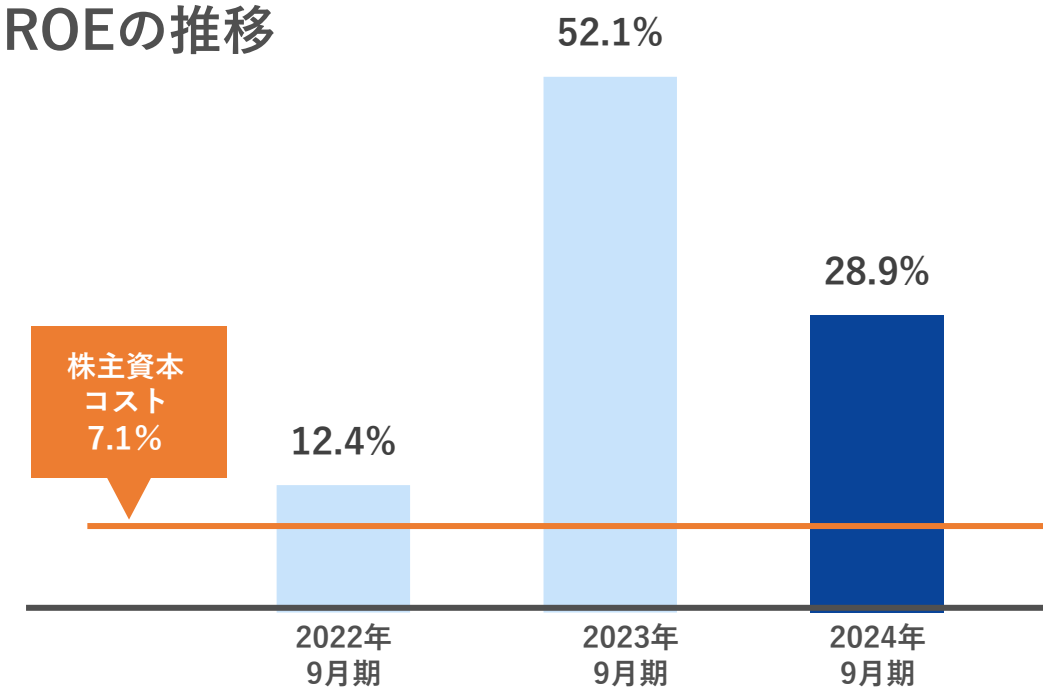
(※1) 3月31日付10年国債金利を採用

(※2) β 値集計期間：20年1月～24年12月までの60ヵ月（月足）

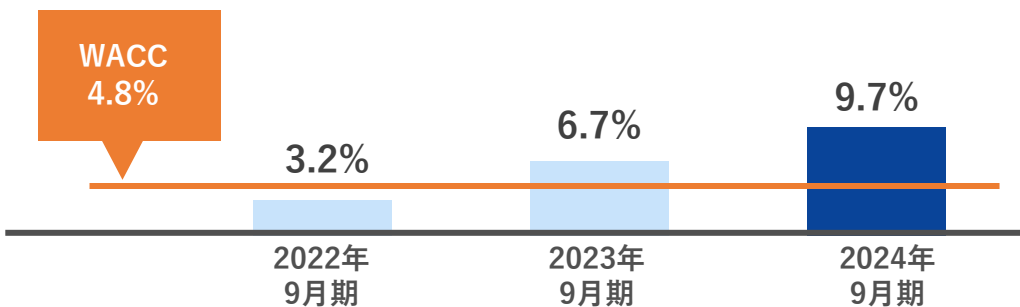
(※3) 株価は3月28日週を起点とした26週平均、その他は2024年9月期末時点の数字を元に算出

ROEは株主資本コストを大きく上回っており、ROICも2023年9月期以降はWACCを超過して推移。

ROEの推移



ROICの推移



	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
当期純利益（百万円）	185	748	611
自己資本（百万円）	1,501	1,436	2,114
ROE（%）	12.3	52.1	28.9

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
NOPAT（百万円）	234	468	727
有利子負債（百万円）※	5,910	5,589	5,409
ROIC（%）	3.2	6.7	9.7

今後もROEは20%超の水準を維持させる。
財務レバレッジが高いため、事業の収益力を強化と財務健全性の向上に注力する。

収益力の強化	利益率が高い事業の拡大に経営資源の注力 ・エンベデッド・ファイナンス事業：金融機関からの紹介案件 ・メディア・プロモーション事業：アクセルジャパン
資産効率性の維持	総資産回転率は2024年9月期末時点で1.3回と、スタンダード市場の全業種平均である0.6回（同 その他金融業平均 0.2回）を超えている。 引き続き売上増大による更なる効率向上を目指す。
財務レバレッジの改善	自己資本比率は2024年9月期末時点で13.9%とスタンダード市場のその他金融業平均（41.3%）と比べて低いため、株主への還元と 並行して、利益剰余金の積み立てなどにより自己資本の増強を行う。

現在の時価総額や流動性を踏まえ、個人投資家向けのアプローチに注力。
機関投資家とのIR面談は、経営層が企業ビジョンを直接伝えると同時に、投資家の期待を的確に把握する。

CEO/CFOが主体となる 機関投資家面談	初対面の投資家に対しては、CEOが当社のビジョンや事業特性 将来性について説明し、その後、同席するCFOも交えて ディスカッションを行う。 2回目以降はCFOが中心となり、 直近の決算情報をもとにディスカッションを実施。
投資家向けに 事業説明会の定期実施	個人投資家向けに年2回ペースで参加を計画。 2023年以降の実績：ハイブリッド1回、オンライン3回。
情報開示のチャネルを拡大	TDnet（PR開示）を利用した積極的なPR情報開示。 IR noteマガジンによる情報発信。

企業価値の拡大を重視し、安定した経営基盤の確立と収益力強化に努めつつ、健全な財務体質を維持しながら、株主を含むステークホルダーへの安定的な利益還元を継続することを基本方針とする。

直近3期分の配当実績

	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期
親会社株主に帰属する当期純利益（百万円）	185	748	611
1株当たり配当金（円）	20	20	20
配当性向（％）	139.9	34.7	42.5
純資産配当率（％）	17.3	18.1	12.3

免責事項

本資料は、NEXYZ.Group（以下、当社）の「資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応」に関する情報提供を目的としたものであり、有価証券の売買や金融商品取引に関する勧誘を意図するものではありません。

本資料には、当社または当社に関連する**見通し、方針、経営戦略、目標、予定、認識、評価**など、**将来に関する記述**が含まれる場合があります。これらの記述（以下、「将来情報」）は、当社または当社が入手した情報に基づき、資料作成時点における**予測、期待、想定、認識、評価**などを反映したものであり、過去の事実のみを記載したものではありません。

また、将来情報の策定には、見通しや目標設定に必要な一定の前提（仮定）が用いられています。これらの前提（仮定）や記載内容について、客観的な正確性や、将来の実現可能性を保証するものではありません。したがって、これらの記述や前提（仮定）が、将来において不正確となる、または実現しない可能性がある点にご留意ください。

将来情報には、経済環境や市場動向、リスク、不確実性などの要因が内包されており、これらは当社の業務・業績に影響を及ぼす可能性があります。影響を及ぼし得る要因には、**国内外の経済状況の変化、不動産価値や株価の下落、貸出先企業の破綻増加、競争環境の変化、経営統合やコスト削減の実現困難化、関連法規の改正、経済政策の変更**などが含まれますが、これらに限定されるものではありません。

なお、本資料に記載された将来情報は、本資料作成時点（または資料内に明記された日付）におけるものであり、当社はこれらの情報を随時更新する義務を負うものではありません。